

## 1 R 4 芽室町議会活性化計画主要事業（評価案）

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

### 主要2項目

#### 1 町民意見を基軸とした議会政策形成サイクルの作動 評価 C

（議会基本条例 第2条（4）、第3条(2)、第8条(1・5)、第12条、第16条）

→町民意見を起点とした政策形成サイクルの定着

#### 2 町民ニーズに的確な議会権能の発揮 評価 C

（議会基本条例 第2条(2)、第3条(2)、第8条、第11条(1)、）

→事態・事象に即した住民視点で調査・審査機能の発揮

A=おおむね達成した  
 B=達成しているが改善余地あり  
 C=達成していない  
 D=取り組んでいない

## ②改善・新規活性化3事項

項目		内容	達成時期	評価
■新規事項	区分			
1. 外部評価による活動事業の集中と選択	新規	事業の成果分析による廃止、継続、修正、拡充・充実の精査	R5年 3月	評価C
2. 自己評価の位置付け、手法、制度の点検	新規	事業評価、外部評価との区分及び自己評価の目的と成果の検証	R5年 3月	評価C
3.議員間討議による活性化2事項の点検	新規	全議員による現状、課題、解決策の整理、検証、実行	R5年 3月	評価B

進捗工程表

達成時期：R5 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R4活性化策1／外部評価による活動事業の集中と選択

## 【現状】

- 議会活動の成果を評価するしくみがない
  - 参考:平成31年度議会改革諮問会議答申  
「住民からみえる「議会活動の評価」に関する  
答申事項」

## 【目指す姿(目標)】

- ### ●事業の最適化と町民満足度の両立

【課題・政策】

- 議会活動をより的確・効果的に実施するためのしくみを確立する

[取組内容]

- ・事業の成果分析による廃止、継続、修正、拡充、充実の精査

[R4 の取り組み]

- ・高校との連携事業（白樺包括連携協定事業・芽高意見交換会）を外部評価対象事業に定めた。
  - ・個別事業の目的（目標）を事前に掲げ、事業終了後に事業評価する手法を試行した。
  - ・北大公共政策大学院(HOPS)の研究成果である「PDMシート」を活用すると共に、HOPSのインターン生を講師に議員研修を行い研さんを積んだ。

## [工程詳細]

[R 元年度評価] ⇒ R4 新規

[R2年度評価] ⇒ R4新規

[R3年度評価] R4新規

[R4年度評価] 外部評価による活動事業の集中と選択 未達成：継続

進捗工程表

達成時期：R5 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R4活性化策2／自己評価の位置付け、手法、制度の点検

## 【現状】

- 「議会の評価」が自己評価にとどまっている。
  - 参考: 平成31年度議会改革諮詢会議答申  
「住民からみえる「議会活動の評価」に関する  
答申事項」

## 【目指す姿(目標)】

- #### ●議会活動が町民の福祉向上につながる

【課題・政策】

- 議会活動が町民の福祉向上につながる手法を明確にする

[取組内容]

- ・事業評価、外部評価との区分および自己評価の目的と成果の検証

[R4 の取り組み]

- ・施策（事業）の手法は、北大公共政策大学院（HOPS）の研究事業による提言を基に取り組む共通認識を図った（6. 1 全員協議会）。
  - ・HOPS インターン生を講師に議員研修を開催し研究成果の共通認識を図った（11. 24）
  - ・HOPS による「自己評価の考察」を議会内で共有した（1. 27 全員協議会）。

[工程詳細]

[R 元年度評価] ⇒ R3 新規

[R2年度評価] ⇒ R3新規

[R3年度評価]

[R4年度評価] 自己評価の位置付け、手法、制度の点検 未達成：継続

進捗工程表

達成時期：R5 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R4活性化策3／議員間討議による活性化2事項の点検

## 【現状】

- 議員間討議の精度向上
  - 参考:平成31年度議会改革諮詢会議答申  
「住民からみえる「議会活動の評価」に関する  
答申事項」

## 【目指す姿(目標)】

- 議員間での討議を行うことにより論点を明確にし、議論を深める

【課題・政策】

- いつ、どのような議論を行ってきたのか、項目ごとに経過を明確にする。

[取組内容]

- ・全議員による現状、課題、解決策の整理、検証、実行
  - [R4 の取り組み]
  - ・活性化 2 事項（外部評価・自己評価）の点検については、北大公共政策大学院（HOPS）の研究事業による提言を基に取り組む共通認識を図ったため、議員間討議は実施しなかった。
  - ・物価高騰対策（合同委員会調査事項）について、議員研修（10.5）の成果を実践し、議員がファシリテーターとなり議員間討議を実施した（2回）。
  - ・議員間討議の結果を政策提言として首長に手交した（12.21）

[工程詳細]

[R 元年度評価] ⇒ R3 新規

[R2年度評価] ⇒ R3新規

[R3年度評価]

[R4年度評価] 議員間討議による活性化2事項の点検 未達成：継続